

文部科学大臣 様

定時制・通信制教育の充実を求める署名

今、定時制・通信制高校に学ぶ人が増えています。その中には、働きながら学びたい人やさまざまな困難を抱える人などがいます。定時制・通信制高校には、きめの細かい、ゆっくりとした教育があります。また、人と人との関係に温もりがあり、何よりも一人ひとりの成長を育み、仕事で疲れた心をいやす仲間や先生がいて、楽しく学べる場所となっています。しかし、全国的に定時制・通信制高校がつぶされ、合併させられるなかで、本来のあるべき定時制・通信制高校の数は年々減少しています。また、授業料は不徴収になったものの、定時制・通信制の生徒は、特定扶養控除の縮小により実質的に負担増になっており、給付制の奨学金が何としても必要です。

私たちは定時制・通信制高校を守り、憲法や子どもの権利条約に示されている教育を受ける権利を定時制・通信制で学ぼうとしているすべての人たちに保障したいと願っています。そのために、以下の項目の実現を求めます。

記

1. 生徒の学ぶ権利を保障してください。
 - (1) 定時制・通信制高校の統廃合を一方的にすすめないでください。
 - (2) 定時制・通信制の給食をより充実したものにしてください。
 - (3) 国の責任で、定時制・通信制教育にかかわる経費を無償にしてください。とりわけ、在籍するすべての生徒の教科書・学習書、給食費は無償にしてください。
 - (4) 給付制の奨学金を創設してください。
 - (5) 定時制の1学級の定員を20人以下にしてください(40人1学級より20人2学級の方がきめ細かい教育ができます)。
2. 定時制・通信制教育の充実のため教職員を増やしてください。
 - (1) 教育に臨時はありません。今いる臨時教職員を正規職員にしてください。
 - (2) 定時制・通信制の教員定数を抜本的に改善してください。現状は限界を超えています。
 - (3) すべての定時制・通信制高校に必要な教職員(養護教諭・現業職員・司書など)を配置してください。
 - (4) 進路指導を充実させるための専任教員や特別な教育的ニーズを持つ生徒に対する専門・専任の教員を配置してください。

氏 名	住 所

取扱い団体 日本高等学校教職員組合